

第3期（令和3年度～令和5年度）第5回日進市地域包括ケア検討会議 議事録

日時 令和5年7月21日（金） 午後2時から午後3時30分まで
 場所 日進市役所第3会議室
 出席者 石田 路子（会長）、大島 亮（副会長）、田村 一央、長谷川 清、
 竹内 安子、神野 建三、徳留 裕子、山田 幹雄、富岡 亜希子、
 村井 良則、福田 有輝
 欠席者 伊東 幸仁、澁谷 いづみ、中西 明日香、齋藤 寛子、住田 敦子
 事務局 川本 賀津三（健康福祉部長）、祖父江 直文（健康福祉部次長兼地
 域福祉課長）、野村 圭一（地域福祉課長補佐）、櫻木 順子（地域福
 祉課地域支援係長）、小倉 懸自（地域福祉課地域支援係主査）、宮田
 あかね（地域福祉課地域支援係保健師）、新海 洋人（地域福祉課福
 祉政策係長）、中村 聡美（地域福祉課福祉政策係主事）

傍聴の可否

可

傍聴の有無

有（4名）

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - （1）地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について
 - （2）第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定について
- 4 今後の予定
- 5 閉会

配布資料

- 次第
- 委員名簿
- 資料1 地域包括ケアシステムの構築に向けた主な取組
- 参考資料1 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について
- 資料2 第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定について
- 資料3 第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定スケジュール案
- 資料4-1 第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定に向けたアンケート調査について
- 資料4-2 アンケート結果報告書（一般高齢者・在宅要介護等認定者）
- 資料4-3 アンケート結果報告書（居宅介護支援専門員）
- 資料5 第9期にっしん高齢者ゆめプラン計画書（案）
- 参考資料2 介護保険部会資料-基本指針の構成について
- 参考資料3 介護保険部会資料-基本指針について
- 当日資料 ACP手帳、リーフレット

発言者	内容
	1 開会

発 言 者	内 容
	2 あいさつ
会 長	(石田会長あいさつ)
事 務 局	(資料確認)
事 務 局	傍聴人案内・入場
	3 議題
会 長	議題（１）「地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について」事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料１、参考資料１に基づき説明)
会 長	事務局からの説明について、ご質問やご意見、ご要望などはありますでしょうか。
委 員	にしんあんしん補償について、我々市民にとっていい制度ではないかと思います。50人で始まっていますが、私が見ている感じでは加入者の10倍以上の認知症の人がいると思いますので、緩やかな認定条件で保険に登録できると良いと思います。ボランティア保険に近い感じで利用できるようになると、非常に安心できるのではないかと思います。認知症に関しては、もっといろいろ配慮が必要になるのではないかと思うので、このにしんあんしん補償についてはそのように要望します。
会 長	今後、保険の実績次第で市の方向性としてはどうですか。
事 務 局	現時点の加入人数は50名ですが、市としても、地域包括支援センターやケアマネジャーからご家族に、やさしい手ネットの事前登録や保険加入についても勧めてもらっており、加入者は増えていくと思っています。 愛知県では半数以上の自治体がこのような保険制度を実施しています。元々は大府市で認知症の人が電車を停めてしまい、多額の賠償請求をされ裁判になった事例があり、愛知県はこの保険制度を実施している自治体が多い状況です。家族の負担軽減になる制度なので、地域包括支援センターやケアマネジャーを通じて広がっていくといいと思っています。
委 員	住民主体の介護予防生活支援サービス事業補助金について、こちらは令和5年度からの新規事業でよろしいですね。移動支援事業のモデル事業として各地区で実施されていて、地区ごとに運行日や回数、利用人数、会費の徴収などそれぞれですが、各地域がどのような運営方法がいいかを協議して実施したということでしょうか。
事 務 局	始まりは地域で困っている方を何とかしたいという住民の声があり、プロに頼むということではなく、自分たちのできる範囲でできないかというところからスタートしました。生活支援コーディネーターが丁寧に話を聞きながら、無理なくできる範囲はどこかということ

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>基本に話し合いを進めてきました。やる気のある方だと、毎日やった方がいいのではないかという意見も出ますが、今やれる仲間で無理なくできる範囲はどれくらいかをそれぞれの地区が話し合い、曜日や時間などを決めてきました。住民の活動は、こちらからやっただきというのではなく、住民の皆さんに決めていただくことが基本と考えています。</p>
委 員	<p>独居世帯や高齢者世帯の多い地域は、このようなニーズは多いと思いますが、モデル事業を実施した成果やどのような方法がいいかなどの効果がわかってきているのではと思いますが、今後実施されるにあたり、市から条件などを提示するのではなく、地域のできる範囲で取り組んでいく方向で実施されるということでしょうか。</p>
事 務 局	<p>おっしゃる通りです。色々な取り組みがあることの紹介はしますが、こうでなければならないと、市や生活支援コーディネーターから勧めることはありません。</p>
委 員	<p>実際に運用するにあたって、モデル事業として行政からの助成金と各地域の会費収入で運用が成り立ったということによろしいでしょうか。</p>
事 務 局	<p>3年間、愛知県からのモデル事業を日進市が受託し、その委託料で車の賃借や一部の運営費の補助をしていました。収支を確認する限りでは、市の委託料と会費等で運営ができていると思っています。補助金の額 16,000/月を決める際も、これまでの地域の活動実績を確認した上で設定させていただきました。</p>
会 長	<p>月額 16,000 円の補助金の使い道等について決まりはありますか。</p>
事 務 局	<p>参考資料に補助金の対象経費について記載していますが、基本的に地域で活動する上で必要になるものは補助対象になっています。ガソリン代については、少額でも利用者負担があることでお互い気兼ねなく利用できる場所があると思うので、実費を超えない範囲で利用者から払っていただき、差額を補助対象経費としています。</p> <p>事業に関係ない飲食費や、車両購入費は対象外になります。また、運転行為への謝礼については、道路運送法との兼ね合いで団体の資金から支払うことはできますが市の補助対象にはできないため、その旨記載しています。</p>
委 員	<p>住民主体による移動支援サービスについて、資料で成功事例として各地区のやり方が紹介されていて、事例まではわかるのですが、モデル事業の期間は頑張っても、そのモデルをベースにして移動支援やプラスアルファの支援が定着していくことは難しいような気がしています。</p> <p>私の住んでいる地区でも、3年から5年ぐらいまちづくりのために</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>情報交換など協力してやってきましたが、その人たちの高齢化などで次の世代にバトンタッチしようと思ってもうまくいかないことがあります。地域の年齢差や意識差によって違うとは思いますが、モデル事業が軌道に乗ったからそれでいいわけではないので、それぞれの地区に定着するようなやり方になるよう、地域の人も頑張らなくてはいいのですが、社会福祉協議会の皆さんなどの協力も必要ですのでよろしくをお願いします。</p> <p>やまびこ日進のような在宅における医療と介護の充実・定着も、地域で期待しています。高齢になると、いつまでも在宅ではられないのではと家族や周りが心配して苦勞されています。ぜひこのところを充実させて、皆さんの希望に沿って、地域の助け合いの組織も意識を変えて協力してやっていく方向に進むといいと思っています。</p>
会 長	<p>この住民主体のサービスにおいては生活支援コーディネーターが重要な役割を果たすということで、この事業に関連する意見や今後についてお話いただけることがありましたらお願いします。</p>
委 員	<p>住民主体の活動が長く続くように伴走支援していくことが生活支援コーディネーターの大切な仕事と思っています。愛知県から3年間の移動支援モデル事業を市が受けたことで、いろんな地域で移動支援が立ち上がっていったことと並行して、3年が終わったときのことも考えてくださっていたことが成功事例につながったと思っています。私たちも住民活動が長く続くよう先を見据えて支援を考えていかなければならないと思ったところですし、社会福祉協議会としても今後課題に挙がってくると思いますので、いち早くキャッチして、補助金や人員の部分なのか考えながら支援していきたいと考えています。</p>
委 員	<p>3月まで生活支援コーディネーターとして、介護予防・生活支援サービス事業としてこの事業に関わらせていただきました。移動支援の運用がゴールではなく、移動支援を地域の人が考える中で、これからますます高齢化が進むことや高齢者世帯や独居の人が増えてきたとか、困りごとがあっても家族には頼れないとか、そういった状況を共有することが遠回りに見えてもすごく大事な時間だと思い、合意形成の時間を長くしていこうと思っていました。</p> <p>今後ますますそういった世帯が増えていきますが、伝えたところで皆さんピンとこないなので、先ほどのACPのようになるべく早い段階からご家族の今後の生活を考えることが大事ではないかと思っています。移動支援もドライバーとして若い世代から参加していただくとか、そこまで時間が取れなくてもお子さん世代が親御さんに移動支援を勧めるとか、そういう話し合いのアイテムになり続けていくことが本来の目的ではないかと思っています。市をあげていろいろなところで話題にさせていただき、若い人へのアプローチの一つとして今後も話のテ</p>

発 言 者	内 容
委 員	ーマになるといいと思っています。
会 長	在宅医療・介護連携について、保健医療関連の委員の皆さまからご意見などをお願いします。
委 員	先ほど他の委員から、高齢になり健康面で心配になると声がありました。当院は在宅医療も担っている病院ですが、日進市の高齢者の数を看るには全く達していないのが現状です。日進市は開業医の方も活発にいろいろ動いていらっしゃると思いますが、在宅診療をされている先生は限られていると思います。今後、高齢者の医療依存度が高くなることに対して、十分に対応できる状況は作れていないと思いますので、医療もそうですが、行政の方にもお手伝いいただき、充実させていかなければならないと常に考えています。
委 員	<p>歯科医院も在宅や施設への訪問診療を行っており、実際に口腔ケアが必要な方は増加傾向にあります。</p> <p>私たちは患者さんが来るのを待っている立場ですが、身体状態、家庭環境など、いろいろなことで来なくなる患者さんもたくさんいます。コロナ前にそういう人たちがなんとか歯科医院に来れるよう移動のサービスを考えたことがありましたが、立ち消えになってしまいました。住民主体の移動支援サービスも、住民の皆さんが知って利用していただけると、敷居が下がって歯科医院にもっと来てもらえることはあると思います。在宅での訪問診療もありますが、治療の特殊性で来院していただかないと難しいこともあります。それを考えると移動支援サービスが普及すると、困っている方がもう少し減るのではないかと思います。ケアマネジャーから訪問診療の要望も聞きますが、家に来られることに抵抗ある方もいますし、こちらから積極的に行くことも難しいので、移動支援サービスが充実してくれるといいと思います。</p>
会 長	在宅の支援で忘れてはならない服薬のことで、ご意見いただけますか。
委 員	<p>薬剤師は在宅支援として、医師からの情報を患者さんにフィードバックする役目がありますので、医師と同行しその場で調剤と一緒に考えます。調剤後、後日患者さんの状態を聞き、その情報を医師や看護師にフィードバックする役割もあります。他にも、調剤と一緒にオムツや生活雑貨を配達しています。</p> <p>在宅に関わる薬剤師が少ないということもありますし、経営基盤としては外来の調剤が中心ですが、これからは在宅が中心になる時代がきていますので、在宅への移行期として薬局としても皆さんに協力できるようにしていきたいと考えています。</p>
会 長	住民側からご要望や希望はありますか。
委 員	在宅医療への希望としては、住み慣れたところで医療を受けられる

発 言 者	内 容
委 員	<p>ことを私自身も願っています。どのくらいのケアを受けられるのか、家族がどこまでできるのかという心配もあります。</p> <p>私の地区も高齢化しており、近くの病院にも行けないという話も出ています。痛いところがあっても病院へ行けず、家で我慢するがなんとかできないかという話を聞きながら、私たちが何とかできないかという出発点で高齢者の移動支援も取り組んでおります。他にも地区で考えているところはたくさんあります。</p>
委 員	<p>私はまちづくり協議会の委員をしております。移動支援も試行錯誤しながらやっています。毎年アンケートをとり、行き先や停まる場所を変えたりしながら、利用者の要望に沿える形で寄り添えるように考えています。先ほどお話がありましたように、作り上げる過程が大切で、今は利用者も増え、利用者間のコミュニケーションもいい感じになってきています。これがまちづくりのひとつの起爆剤になっていると思っています。</p> <p>知識を共有する元気塾をやっていますが、最近は知識ではなく何か行動をしながら一緒に考えていく方向がいいのではないかと考えています。</p>
委 員	<p>民生委員は今も欠員があり、昔と比べて成り手が減っています。一人暮らし高齢者や高齢者世帯も増えており、家族には仕事があるので頼めないとおっしゃる方などが多くいます。民生委員がその方たちの困りごとを聞いて地域包括支援センターや市役所に伝え、地域で楽しく暮らしていけるお手伝いができるといいと思っています。つどいの場を始めて26年になりますが、うちは320世帯ほどの自治会ですが、最近は自治会から抜ける人も出てきました。若い人では、自治会に入るメリットは何かと言われ、辞められる方もいらっしゃいます。コロナの影響ばかりではなく、つながりが減ってきていると思い、移動支援などをやれるといいと思いますが、世帯数が少なかったり、70歳くらいまで働いて地域に関わりたいが時間がとれないという人も多くいる現状で、民生委員としてどんなことができるのか皆考えていると思います。民生委員は地域の人に助けられて活動しているので、ご協力いただけたらうれしいです。</p>
委 員	<p>社会福祉法人で高齢者施設を運営しています。移動支援からいろいろなサービスが始まっているという報告を受け、これが進んでいくと単純な付添いだけでなくいろいろな代行をしなければいけない状況になっていくのではないかと考えています。例えば治療方針の決定や入院手続きなど、本来家族が行うことが住民にのしかかってくるのではないかと想像しています。</p> <p>地域の皆さんが頑張っていて取り組んでいただいていることは見えてきていますが、私のように昼間働いていてあまり地域と接点がないと、</p>

発 言 者	内 容
委 員	皆何をやっているかわからない、情報が入ってこないということが結構あり、地域の中でそう情報を広げていくかがますます大切になってくると思いました。
会 長	<p>日進市に限らず、自治会に入らないという傾向は一般的に出てきているようで、これからもっと進んでいくのではないかと考えています。これまでの5年とこれからの5年とでは、世の中が激変するのではないかとこのことを危惧していますが、それを見据えて地域包括ケアシステムを今考えていく必要があると思っています。</p> <p>日進市は全国平均と比べて若いまちですが、今やらなければもう間に合わないということもあるので、ぜひ同じ思いを皆さんと一緒に持ちながら進めていければと思っています。議題（1）について、他にご意見がなければ議題（2）に進みます。</p> <p>それでは「第9期にしん高齢者ゆめプラン策定について」事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料2、3、4、5に基づいて説明)
会 長	事務局からの説明について、ご質問などはありますか。
委 員	IADL が低い高齢者の割合が前回から少し増加しているという報告でしたが、この要因は後期高齢者が増えたという意味でしょうか。
事 務 局	手元に前回の回答者年齢の内訳が出ているわけではないのですが、回答者割合の中で、75歳以上の後期高齢者が増えているため、おのずとこのあたりの数値に変化が出てきていると思っています。
委 員	介護施設の定員のところで、有料老人ホームのところでは介護付きと住宅型と分けていますが、軽費老人ホームにも介護付きとそうでないものがありますので、ここを分けておいた方が整合性がつくと思います。
事 務 局	最終版のときに分けておきたいと思います。
会 長	参考までにお聞きしますが、第8期における日進市の介護保険料の基準額はいくらでしょうか。
事 務 局	5,363円です。
会 長	全国平均は6,000円を超えていたと思います。日進市は全国に比較して介護保険料が安いというのはそれだけ若い方が多いというところがありますが、介護保険料に関しては所得段階がありますが、日進市は何段階に区分されていますか。
事 務 局	基準額は第5段階にあたりまして、そこから低所得の人は1～4段階で、これは国の基準と一緒にです。第5段階より上につきまして、国の標準は9段階ですが、日進市は第13段階までなので、国の基準より細かく設定しています。
会 長	現在国は9段階ですが、今後もう少し多くなる方向性ですが、既に

発 言 者	内 容
会 長	<p>日進市は13段階としており、より収入の高い方に関してはより高い介護保険料をお支払いいただいているという実態ですね。</p> <p>第9期でさらに増えるということはありませんでしょうか。</p>
事 務 局	<p>国の動向を見ながらですが、この段階を増やすということは保険料にも影響しますので、どのような形が適当か12月に向けて今後議論していくこととなります。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。資料が膨大ですので、また何か質問等がありましたら、事務局に随时お問合せいただくということで、議題(2)につきましては以上とさせていただきます。</p>
事 務 局	<p>ご意見等ありがとうございました。次回は10月頃に開催をさせていただきます。計画の第3章である具体的な取り組み内容について、今回の議題1をふまえて足りない部分、発展させていく部分を議論いただきたいと思っています。</p> <p>以上をもちまして第5回日進市地域包括ケア検討会議を閉会いたします。</p>
	5 閉会